



166



ピアノ／上原ひろみ

Hiromi Uehara, Piano

ガーシュウィン：

ピアノ協奏曲（ヘ調の協奏曲）

George Gershwin: Concerto in F for piano and orchestra

バルトーク：

管弦楽のための協奏曲

Béla Bartók: Concerto for Orchestra

佐渡裕
ガーシュウィン&バルトーク

指揮・芸術監督／佐渡裕

Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

© 飯島隆

管弦楽／

兵庫芸術文化センター管弦楽団

Hyogo Performing Arts Center Orchestra



兵庫芸術文化センター管弦楽団 第166回定期演奏会

2026 1/23金 24土 25日 開演 3:00PM (開場 2:15PM)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ／JR西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）

A席5,000円 B席4,000円 C席2,500円 D席1,000円（全席指定／税込）

ご予約
お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-025510:00AM～5:00PM
月曜休 ※祝日の場合翌日

芸術文化センター会員先行予約受付開始 9/4(木)

一般発売

インターネット予約

■芸術文化センター <https://www.gcenter-hyogo.jp>■イープラス <https://eplus.jp>■チケットぴあ <https://pia.jp/t/>■ローソンチケット <https://l-tike.com>直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター
[9/9(火)より、残席がある場合のみ]

9/7(日)

※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

©主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

助成：

文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会兵庫県立
芸術文化センター

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第166回定期演奏会



2026年の定期演奏会は佐渡裕芸術監督の指揮で幕開け! 今回のソリストは、「全身の細胞が音楽とつながっているような素晴らしいセンスを感じる」と佐渡芸術監督大絶賛のピアニスト 上原ひろみがPAC初登場。ジャズシーンにおいて、世界を股にかけて大活躍する上原ひろみのガーシュウィンには期待に胸が高まります。

後半はアメリカ時代の晩年のバルトークがクーセヴィツキーから依頼を受けて作曲した「管弦楽のための協奏曲」。そのタイトルどおり、オーケストラの各パートがソリストのように大活躍。PACメンバーの熱演にご注目ください。

佐渡芸術監督と上原ひろみが繰り広げるエキサイティングな駆け引きが注目のガーシュウィン。そして、躍動するリズムと鮮烈なサウンドが印象的なバルトーク。新年にふさわしい定期演奏会になること間違いなし! どうぞご期待ください。



指揮・芸術監督 佐渡 裕 Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアを代表し110年以上の歴史を持つトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。オランジュ音楽祭「蝶々夫人」(演奏: スイス・ロマンド管弦楽団)、トリノ王立歌劇場「ピーター・グライムズ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」など海外のオペラ公演の実績も多数ある。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、サントリー1万人の第九総監督等を務める。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー: 交響曲第6番」を25年5月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生〜指揮者は時間を彫刻する〜」(PHP文庫/新書)など。出光音楽賞(1991年)、モンブラン国際文化賞(2003年)、渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2003年)、岩谷時子賞(2014年)などの受賞歴がある。オフィシャルファンサイト: <http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



ピアノ 上原ひろみ Hiromi Uehara, Piano

1979年静岡県浜松市生まれ。17歳の時にチック・コリアと共演。1999年バークリー音楽院に入学。在学中にジャズの名門テラークと契約し、2003年にアルバム『Another Mind』で世界デビュー。2008年にはチック・コリアとのアルバム『Duet』を発表。2011年にはスタンリー・クラークとのプロジェクト作『スタンリー・クラーク・バンド フィーチャリング 上原ひろみ』で第53回グラミー賞「ベスト・コンテンポラリー・ジャズ・アルバム」を受賞。2016年には上原ひろみ・ザ・トリオ・プロジェクト feat. アンソニー・ジャクソン&サイモン・フィリップスとしてのアルバム『SPARK』がアメリカのビルボード・ジャズ総合チャートで1位を記録。2017年には日本人アーティストでは唯一となるニューヨーク・ブルーノートでの13年連続公演も成功させた。2020年からは、コロナ渦で苦境にあるライブ業界の救済を目的にブルーノート東京にてシリーズ企画「SAVE LIVE MUSIC」を展開し、その公演回数は100公演を超えた。2021年には「東京2020オリンピック開会式」に出演。2022年よりワールドツアーも本格的に再開。2023年公開された映画『BLUE GIANT』では音楽監督を務め、第47回日本アカデミー賞において「最優秀音楽賞」を受賞。アメリカの放送局NPRが企画する人気プログラム「Tiny Desk Concerts」にも出演し話題となった。2023年からは最新プロジェクト「Hiromi's Sonicwonder」として活動中。

兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC(バック)オーケストラ。 <https://hpac-orc.jp>



PAC公式SNS



先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!
大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

